

(令和元年12月定例会議説明資料)

SDA活動の回顧と今後の展望

はじめに

令和元年度もあと3ヵ月余りとなりました。今年度は前年度に引き続き死亡事故ゼロで、犯罪被害は3件(いずれも窃盗未遂。昨年度は窃盗5件うち既遂1件)と、平成22年度に記録を始めて以来最少(最多は平成24年度の72件)と概ね平穏な日々を過ごすことができました。一方、雇用状況回復の兆しが見えず、実技・座学講習参加者数は過去最少と厳しい状況です。

1 大崎隆三氏が退職され、名誉顧問に就任

平成5年9月22日のSDA設立に貢献され、25年余り事務局を牽引してこられた大崎隆三氏が今年3月末病に倒れ、6月10日の総会において退職が承認されました(現在、同氏はたいへん元気にお過ごしです)。総会においては浅野理事長から名誉顧問への就任が要請されました。大崎氏は、これに先立つ平成31年1月17日、東京の文京シビックホールにおいて行われた交通安全全国国民運動全国大会において最高位の緑十字金章を授与されており、奇しくもこれが同氏の活動の集大成という形になりました。写真右は(一財)全日本交通安全協会発行「人と車」2月号の表紙を飾った受賞の様子です。



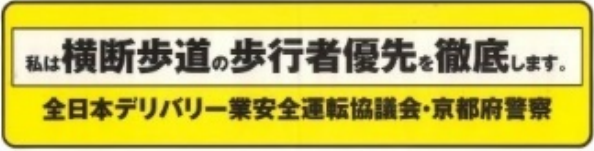
2 浅野理事長が食品産業功労賞を受賞

令和元年10月30日にホテルニューオータニ東京で開催された食品産業功労賞第52回贈呈式で、浅野理事長が(株)フォーシーズ代表取締役会長兼CEOとして外食部門で受賞されました。写真右は日本食糧新聞社会長兼CEO今野正義氏から賞状を授与される浅野理事長、写真右下は紹介スライドの最初の画面です。また、流通部門で(株)岩田産業ホールディングス代表取締役会長兼社長の岩田陽男氏が受賞されました(写真下)。



3 京都府における横断歩道歩行者優先運動に参加

JAF が昨年実施した信号機のない横断歩道で車両が停止する確率調査において成績不振であった京都府警察本部におかれては、これを改善するためにステッカーを車両に貼付して府民に訴えようと考えられ、SDA がこれに協力しました。令和元年 9 月 24 日、警察本部玄関において、交通部横淵次長御臨席のもとに宣言式が行われ、(株)リトパ コーポレーションの羽社長に高沢二条店店長が安全運転宣言を行い、3 台のバイクにステッカーを貼り出発しました。式典の様子は TV や新聞で紹介され「人と車」11 月号にも掲載されました。



4 保土ヶ谷警察署・保土ヶ谷交通安全協会から感謝状を受領

令和元年 11 月 27 日、神奈川県保土ヶ谷警察署において保土ヶ谷区交通安全功労者合同表彰式が行われ、保土ヶ谷警察署長・保土ヶ谷交通安全協会会長連名で交通安全功労団体として SDA に感謝状(写真下右)が授与され、浅原事務局長が理事長代理で受領しました(写真下左)。団体は当協議会のみでした。神奈川県所轄署管内交通安全協会表彰は、近年にはないと思います。



4 座学講習会

座学講習会実績

年 度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	01
実施回数	7	12	6	3	1	2	3	4	4	2
参加人数	298	452	307	114	58	84	83	72	60	27

平成 6 年度に開始しました。人手不足を反映してか参加者数が激減傾向にあります。昨年度は、特に座学講習会を設定せず、定例会議の冒頭に、講師から 15～30 分間の講話を 4 回頂戴しました。

今年度は、東京で実施した警視庁交通部と損保ジャパン日本興亜(株)の講話は 17 名(損保ジャパン社員 2 名と SDA 事務局 3 名を含む)、大阪で実施した大阪府警察本部の講話は 10 名(SDA 事務局 1 名を含む)の参加者でした。京都府警察本部の講話は、参加希望者が 6 名のため中止しました。

このような状況では当面座学講習会の開催は困難であり、来年度は開催希望があつて 10 名程度の参加希望者があれば開催したいと思います。一方、平成 24 年 6 月 20 日に実施した、会員相互の研究発表会である「SDA セーフティフォーラム」の第 2 回目を計画したいと思います。

5 実技講習会

平成 6 年度に開始しました。昨年度の参加者は 296 名でしたが、本年度は、雇用状況の未回復、働き方改革の影響及び台風 19 号に起因する河川の氾濫による警視庁白バイ教育センター・小岩警察署荒川河川敷訓練場の冠水による使用不能、並びに雨天中止(東京都及び神奈川県で各 1 回)などにより、現在まで 106 名です。最多記録は、平成 15 年度の 1,676 名ですから隔世の感があります。

京都府の伏見デルタは参加希望者 2 名、大阪府の茨木ドライビングスクールは同 3 名で中止(参加希望者はいずれもシカゴピザさんでした。申し訳ありません)、東京都は他社等との共同参加のうち、参加者なしが 5 回ありました。下表には 12 月 7 日開催予定の祐天寺附属幼稚園駐車場における目黒署の講習会は、参加者数の実績に入れていません。

実技講習会実績

年 度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	01
実施回数	35	37	43	36	30	31	28	20	28	10
参加人数	835	982	863	718	418	508	370	277	296	106

今年度の各社の参加状況は、参加者数の多い順に次のとおりです(申し込まれたにもかかわらず中止になった場合はゼロとしています)。括弧内は昨年度の参加者数で、ライドオンエクスプレス HD さんには、12 月 7 日の目黒署実技講習会参加予定 3 名を加えています。

ストロベリーコーンズ 19(27)、ピーシーエス 18(19)、日本ピザハット 16(46)、フォーシーズ 16(47)、イワタダイナース 13(20)、ライドオンエクスプレス HD 11(41)、ポケットフーズ 6(10)、ビッグベアーズフーズサービス 5(11)、壱番屋 4(14)、シカゴピザ 1(7)、他 0(187)。

6 安全運転競技大会

全国大会(SDA セーフティコンテスト)は平成 10～22 年度の間鈴鹿サーキット、平成 23 年度から、ひたちなか市の自動車安全運転センター・安全運転中央研修所で開催しています。また、東京大会は平成 16 年度に開始しました。参加者数が減少しており、参加者数の増加を切望する次第です。

年 度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	01
全国大会	70	73	78	54	68	63	55	57	42	48
東京大会	54	57	52	61	49	58	49	51	30	37

7 無事故無違反運動への参加(東京都)及び開催(46 道府県)

平成 11 年度から開始しました。47 都道府県すべてで実施するようになったのは、平成 19 年度からです。46 道府県は平成 24 年度から 7 年連続で達成率が向上しています。また、東京都においては、30%台から平成 28・29 年度に 40%台となり、昨年度は 50%台となりました。参加人数につきまして

は、平成 27 年度から逐次伸びてきましたが、昨年度は 8.6%減、本年度は 2.7%減という結果となりました。

平成年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	01
参加会員数	18	20	20	18	18	19	16	17	15	15
参加人数	13,261	13,040	13,642	12,278	10,976	11,789	12,043	12,738	11,645	11,336
達成率(46道府県)	56.1%	55.8%	59.5%	60.4%	63.1%	63.2%	66.5%	69.7%	70.8%	
達成率(東京都)	33.9%	33.3%	30.3%	37.1%	37.7%	36.8%	46.7%	46.2%	51.9%	

(準参加を除く)

8 今後の行事予定

- 令和元年度総括理事会:令和 2 年 3 月 13 日(金) 日本倶楽部食堂 15:00～16:30
- 令和 2 年度定時総会・懇親会:令和 2 年 6 月 5 日(金) 海運クラブ
総会 14:30～17:15、懇親会 17:30～19:00
- 第 23 回 SDA セーフティコンテスト:令和 2 年 9 月 5 日(土) 安全運転中央研修所
09:20～16:30
- 第 17 回警視庁・SDA 共催安全運転競技大会:7 月上旬

9 来年度の重視事業

■ 無事故無違反運動の推進

実技講習会参加者数が激減している近年、無事故無違反運動を強力に推進することにより、交通安全管理態勢の向上を目指します。今年の 10 月 1 日から、運転記録証明発行手数料が 40 円上がって 670 円になりますので、一人当たり 170 円の補助金を支給します。

■ 第 2 回 SDA セーフティフォーラムの開催

平成 24 年に開催した同フォーラムの 2 回目を開催したいと思います。御協力をお願いします。

おわりに

令和元年 8 月 26 日、**抜山映子(ぬきやま・えいこ)**先生が逝去されました。先生は昭和 9(1934)年 2 月 26 日神戸市生まれで、昭和 32(1957)年に**神戸大学法学部**を卒業、昭和 33(1958)年に司法試験合格、昭和 34(1959)年に**同大学大学院法学研究科修士課程**を修了されています。大崎隆三氏のお話では、先生はフルブライト奨学金制度でミシガン州立大学に留学されています。

昭和 36(1961)年に弁護士を開業され、亡くなられるまでお仕事を続けられてきました。

先生は昭和 58(1983)年 6 月の参院選に民社党公認で兵庫選挙区から立候補し当選されました。さらに昭和 60(1985)年 4 月に同党婦人対策委員長、昭和 64(1989)年 2 月に**民社党副委員長**に就任されました。

当協議会では初代の評議員及び顧問弁護士としてお世話になりました。写真右は平成 7(1995)年 1 月に発行された SCRUM 第 1 号に掲載された先生のお写真です。

抜山先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。



以上